

イギリス史上最も美しく、
最も聡明と言われている若き女王の物語。

9days Queen 九日間の女王

舞台はエリザベス1世が即位する5年前の1553年。在位期間わずか9日間のイギリス女王がいた…。彼女の存在を知る人が果たしてどれくらいいるのだろうか。

16歳の若く美しい悲劇の女王ジェーン・グレイを、TV・映画などで女優としての輝かしい実績を積み堀北真希が演じる。そして、ジェーンのよき理解者である家庭教師ロジャー・アスカムには、舞台ではもちろん多方面で活躍を続ける上川隆也。そのほか個性豊かな演技派のキャストが

顔を揃える。演出は、読売演劇大賞を連続受賞し、様々な作品の演出・出演に携わり精力的に活動している白井晃。脚本は、2013年のイギリス留学を経て活躍目覚ましい青木豪。そして音楽は、パリを拠点にビナ・パウシェ、ヴィム・ヴェンダース、ロバート・ウィルソンなど名だたるアーティストと創作活動を共にし、世界で活躍する三宅純。豪華キャスト・スタッフが集結し、16世紀の王位をめぐる様々な人間関係を鮮明に描く期待作、運命とひたむきに対峙する美しき女王の最期を見届けて欲しい。

SYNOPSIS
厳格なプロテスタントのジェーン・グレイは、ヘンリー八世の最後の妻であったキャサリン・パーの宮殿で、王女メアリーやエリザベスと共に貴族としての教育を受けていた。そこで家庭教師のロジャー・アスカムと出会う。後にキャサリンは再婚相手のトマス・シーモアとの間に身籠った子供を出産して命を落とし、ジェーンは親元へ戻ることとなった。やがて、摂政サマセットの政敵ジョン・ダドリーの権力が上昇し、最高権力者にのし上がると、王位

継承権を持つジェーンは彼の息子ギルフォードと結婚させられてしまう。そんな中エドワード王の健康が悪化、カソリックのメアリーが後継者になる事を恐れたジョン・ダドリーは、ジェーンを次の女王にすべく画策する。エドワード王の死去後、ジェーンは突然女王になること告げられ拒むことも出来ず、イギリス女王に即位することになるのだった。運命に翻弄された彼女が最後に自ら決断した選択とは……

衝撃の初舞台『ジャンヌ・ダルク』から3年、
堀北真希が再び赤坂ACTシアターに！

堀北真希

成河
江口のりこ

田畑智子

浅利陽介
姜暢雄

愛名ミラ
和泉崇司
青葉市子 (シンガー)

朴璐美
神保悟志

春海四方
久世星佳

銀粉蝶
田山涼成

上川隆也

